

## 第5回亀岡市学校給食検討懇話会 議事要旨録

日 時： 令和5年12月13日(水)

場 所： 市役所 3階302・303 会議室

出席者： 久下沼座長・上田副座長・國府委員・須知委員・松村委員・井尻委員・四方委員

欠席者： 安田委員・入木委員・草木委員・辻村委員

事務局： 森岡教育部長

教育総務課 阿比留課長

学校教育課 今西課長・石田主幹

学校給食センター 岩崎所長

傍聴者： 4名

議 題： 提言書(案)について

### 【記録】

#### 1 開会

#### 2 資料の説明

提言書(案)について

を事務局より説明

#### 3 説明及び意見交換等

座長)前回の第4回懇話会で出された意見を一定反映したファイルが事務局から送られ、委員の皆様にはそれをご確認頂いたかと思えます。そこに反映されていた修正案については、一通りご承認いただいたということで、今回の検討の対象からは外させていただきます。今回は、委員の皆様から追加で頂いた修正案を、赤字で提示しています。追加の修正案については直接出されたものをそのまま反映せず、一部について私なりに再修正して提示させていただいております。それでは順番に進めさせていただきます。

座長)2ページ、3番目から4段目のパラグラフにかけて、いくつか修正案が提示されています。修正案の主旨としては、本懇話会が小学校給食も含めて検討しているという内容を盛り込む必要があるとの指摘であると理解します。よって、小学校も含めて学校給食のあり方を検討した、という表現への修正を提案させていただきました。これについてはいかがでしょうか。

委員)“可動状況”とありますが、動く可動ではなく“稼働”の方がいいと思います。
座長)誤植ですので修正します。
委員)あと1点。判断考慮材料を元に各委員が検討したのではなく、判断材料について議論されたのではないのでしょうか。
座長)小学校給食のあり方それ自体ではなく、学校給食全体の中で、小学校給食のあり方も考慮して検討を進めたということになりますので、直接に小学校給食のあり方を議題として取り上げたという表現よりは、「もとに」の方が適当かなと思いますがいかがでしょうか。
委員)皆さまが理解されたのならこの表現で問題ないと思います。

<p>座長)次の5ページにつきまして、小項目として(1)と(2)があって、ここのタイトルを包摂するようなタイトルの表現(学校給食に対するアンケート結果の概要)に変えたいということです。</p> <p>学校給食に対するアンケート結果の概要ということで、結果を示すデータがあり、そのアンケート結果を踏まえての意見が出され、それらを(2)に箇条書きで並べています。これらを合わせてアンケート結果の概要として括って、(1)は単に「アンケート結果」としてはどうかという提案です。</p> <p>また、グラフが示されている場合はグラフのみでよいのではという意見についてですが、グラフの中に実数と比率が表現されていますが、前回4回の懇話会で実数の違いも反映させるべきであるというご意見があったため、表では実数を確認いただき、比率についてはグラフで視覚的に確認してもらえようという意図で、表とグラフの両方の残してはいかがでしょうか。</p>
委員)(委員全員同意)

<p>座長)次に4番の項目について、別立てになっていますが、現状の亀岡市立学校給食センターの内容は、5の中学校給食の実施方式などと併記してはどうかというご意見です。現在の小学校向けの給食供給を担っている学校給食センターを改修して中学校の供給も担わせるという選択肢もあるかとは思いますが、一般的な給食の実施方式として併記することは妥当でないと考え、現状の給食センターの現状を独立して記述させてはどうかと考えますがいかがでしょうか。</p>
委員)4として独立させる意味があるのでしょうか。亀岡市立学校給食センターの現状については、中学校の実施方式の検討の際の参考資料となる内容であるため、5に入れても良いかとも考えます。
座長)中学校の給食方式を選択する上で、現状を踏まえた上で検討する、という意図で5に入れるという事ですね。ただし、5については一般的な方式の説明が入っているため、入れるとすれば5の最後の部分でどうでしょうか。

委員)確かに、アンケート結果の後に唐突に入っているので、関連性を理解することが難しいと感じました。先ほどからお話があるように、現在の給食センターという文言を入れるだけでも良いのではないかと思います。

委員)学校給食実施方式別の検討の段階での材料として 5 の中のどこかに織り込むということによいかと思います。

座長)それでは、4として独立させず、次の5の最後に入れるように修正したいと思います。

座長)次に5番の内容ですが、学校給食実施別方式の検討で、「食育・農業・環境教育との親和性」にある「親和性」という表現が分かりにくいとのことでした。それらの教育を実施する際に給食も一つの機会・手段として活用していくという意味ですが、どのような表現が良いでしょうか。

委員)食育・農業・環境教育との連携を図るという意味ならば、「連携」ではどうでしょうか。

座長)それでは「連携」に変更いたします。

座長)次に 9 ページ下段「学校活動への影響」について、大きくは「教育活動」で括ることができ、その中に学校活動があるのではないかとこの意見がありましたので、「学校活動」を「教育活動」に変更したいと思います。いかがでしょうか。

委員)(委員全員同意)

座長)次、10ページでセンター方式のメリットで「衛生上のリスク管理の徹底を図ることが相対的に容易である」という表現と「衛生管理上のリスクは集中する」という表現が、メリットとデメリットであり、矛盾するのではないかとのご意見ですが、リスク管理が徹底しやすいということと衛生管理上のリスクが集中するという事は矛盾するわけではなく、集中するので管理もしやすいという意味であると思いますがいかがでしょうか。

委員)「衛生上のリスク管理の徹底・・・」ではなく、「衛生管理の徹底を図ることが相対的に容易である」という表現ではどうでしょうか。

委員)(委員全員同意)

座長)次に 10 ページの主なデメリットの中で「学校に届けるまでの時間がかかる」という記述について、8 ページの現給食センターの記述で「温かい状態の給食を2時間以内に学校に配送している」という事実と矛盾するのではないかとのご指摘ですが、ここでの記述は他の方式と併記し比較しているため、「相対的に」という表現を追加させていただきました。いかがでしょうか。

委員)(委員全員同意)

座長)最後に12ページの提言書です。8行目の部分に亀岡市の諸政策と整合性がある文言も入れてはどうかのご提案であります。これはよろしいでしょうか。

委員)(委員全員同意)

座長)14ページの結びについて、「中学校給食の早期実現」という表現を追加してはどうかのご提案でありました。これは、亀岡市の「子どもファースト宣言」でも明文化されているものですので、追加しても良いかと考えますかいかがでしょう。

委員)(委員全員同意)

座長)その他、よろしいでしょうか。

委員)確認ですが、5・6ページの表は必要でしょうか。表とグラフ同じものを出さずに、グラフだけの方が分かりやすいかと思います。

座長)前回のご意見の中で、比率だけでなく実数も大切であるのご意見があり、両方をグラフィックで表す方法もありますが、ここでは表で実数を示し、グラフで比率を示すという使い分けをするのが良いかと思います。

委員)総数はグラフにも出ているので、比率が重要であると思うため、グラフのみにした方が分かりやすくてよいかと思います。

座長)グラフで表している設問以外はアンケート結果を表で示しているため、同じように表で並べてもよいかと思います。

委員)わかりました。

座長)それでは、皆様から頂いた修正案を最終の文書に反映し、字句の調整等につきましては私と事務局に一任いただく形でよろしいでしょうか。

委員)(委員全員同意)

座長)本懇話会を5回にわたり開催し、皆様のご協力のおかげで提言書をまとめることができました。ご協力に対して感謝いたします。誠にありがとうございました。

#### 4 閉会